

実 施 主 体

1. 国立身体障害者リハビリテーションセンター

2. 都道府県又は政令指定都市

北海道・札幌市

宮城県

千葉県

埼玉県

神奈川県

岐阜県

三重県

大阪府

岡山県

広島県

福岡県・福岡市・北九州市

名古屋市

地方支援拠点機関等一覧

		連絡先住所	電話番号
北海道・札幌市	北海道大学医学部附属病院	札幌市北区北14条西5丁目	011-716-1161
宮城県	東北厚生年金病院	仙台市宮城野区福室1-12-1	022-259-1221
埼玉県	埼玉県総合リハビリテーションセンター	上尾市西貝塚148-1	048-781-2222
千葉県	千葉県千葉リハビリテーションセンター	千葉市緑区誉田町1-45-2	043-291-1831
神奈川県	神奈川県総合リハビリテーションセンター	厚木市七沢516	046-249-2652
岐阜県	木沢記念病院	美濃加茂市古井町下古井590	0574-25-2181
三重県	三重県身体障害者総合福祉センター	津市一身田大古曾670-2	059-231-0155
大阪府	大阪府立身体障害者福祉センター	堺市旭ヶ丘中町4-3-1	072-244-8000
岡山県	川崎医科大学医学部附属病院	倉敷市松島577	086-462-1111
広島県	広島県立身体障害者リハビリテーションセンター	東広島市西条町田口295-3	082-425-1455
福岡県・北九州市・福岡市	産業医科大学病院	北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1	093-603-1611
名古屋市	名古屋市総合リハビリテーションセンター	名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1-2	052-835-3811
国リハ	国立身体障害者リハビリテーションセンター	所沢市並木4-1	04-2995-3100

【地方支援拠点機関等連絡協議会委員名簿】

都道府県等	氏名	所 属	
北海道 札幌市	生駒 一憲	北海道大学大学院	
	堀 享一	北海道大学医学部附属病院	
	宮崎 利千子	〃	
宮城県	遠藤 実子	東北厚生年金病院	
	奥野 備子	〃	
	佐藤 美穂	高次脳機能障害者を支援する会	
埼玉県	堀江 明	埼玉県総合リハビリテーションセンター	
	廣岡 享	〃	
	原田 実	〃	
千葉県	大賀 優	千葉県千葉リハビリテーションセンター	
	太田 令子	〃	
	三須 正	〃	
神奈川県	大橋 正洋	神奈川県リハビリテーション支援センター	
	生方 克之	〃	
	岡本 朗	七沢第一、第二更生ホーム	
岐阜県	篠田 淳	木沢記念病院	
	榎 林 優	〃	
	宇津山 志穂	〃	
三重県	太田 喜久夫	松阪中央総合病院	
	白山 靖彦	三重県身体障害者総合福祉センター	
	傍島 康氏	〃	
大阪府	足立 達也	大阪府立身体障害者福祉センター	
	鈴木 明善	〃	
	汁本 幹雄	〃	
岡山県	椿原 彰夫	川崎医科大学附属病院	
	種村 純	川崎医療福祉大学	
	後藤 祐之	社会福祉法人 旭川荘	
広島県	丸石 正治	広島県立身体障害者リハビリテーションセンター	
	小家石 龍次	〃	
	百川 晃	〃	
福岡県 北九州市 福岡市 名古屋市	岡本 浩二	福岡県保健福祉部	
	野田 雅美	産業医科大学病院	
	安野 敦子	福岡市立心身障害福祉センター	
	尋木 佐一	名古屋市総合リハビリテーションセンター	
	阿部 順子	〃	
学識経験者	長谷川 真也	〃	
	金澤 一郎	国立精神・神経センター	
	重森 稔	久留米大学	
	蜂須賀 研二	産業医科大学	
	樋田 精一	国立精神・神経センター武蔵病院	
	長岡 正範	順天堂大学大学院	
	寺島 彰	浦和大学	
	加藤 元一郎	慶応義塾大学	
	深津 玲子	国立病院機構宮城病院	
	田谷 勝夫	障害者職業総合センター	
	種村 純	川崎医療福祉大学	
	当事者団体	東川 悦子	日本脳外傷友の会
		鈴木 照雄	高次脳機能障害者と家族の会
		田辺 和子	高次脳機能障害を考える「サークルエコー」
	国	山崎 晋一郎	厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部
渡邊 雅浩		〃	
内田 玄祥		〃	
岩谷 力		国立身体障害者リハビリテーションセンター	
片石 修三		〃	
山内 保孝		〃	
中島 八十一		〃	
三輪 隆子		〃	
森田 稲子		〃	
菅原 美杉		〃	
菅野 博也		〃	

平成 16 年度企画班班員名簿

岩 谷 力 (国リハ)

山 崎 晋 一 郎 (厚生労働省)

渡 邊 雅 浩 (厚生労働省)

内 田 玄 祥 (厚生労働省)

片 石 修 三 (国リハ)

山 内 保 孝 (国リハ)

中 島 八 十 一 (国リハ)

長 岡 正 範 (学識経験者)

寺 島 彰 (学識経験者)

大 橋 正 洋 (神奈川県)

阿 部 順 子 (名古屋市)

樋 田 精 一 (学識経験者)

平成 16 年度学識経験者班員名簿

金澤 一郎 (国立精神・神経センター)

樋田 精一 (つるい養生邑病院)

重森 稔 (久留米大学)

長岡 正範 (順天堂大学)

蜂須賀 研二 (産業医科大学)

寺島 彰 (浦和大学)

加藤 元一郎 (慶應義塾大学)

深津 玲子 (国立病院機構宮城病院)

田谷 勝夫 (障害者職業総合センター)

地方支援拠点機関等連絡協議会作業班班員名簿

企画班	支援コーディネーター班		専門委員班
<u>岩谷 力</u> (医師) <u>山崎晋一郎</u> (医師)	<u>寺島 彰</u> (教授) <u>山内 保孝</u> (CW)		<u>中島八十一</u> (医師) <u>長岡正範</u> (医師)
渡邊雅浩 (専門官)	北海道	堀 享 一 (PT) 宮崎利千子 (MSW)	大橋正洋 (医師) : 評価
内田玄祥 (専門官)	宮城県	奥野備子 (看護師) 佐藤美穂 (ケアマネジャー)	重森 稔 (医師) : 評価
片石修三 (事務官)	埼玉県	廣岡 亨 (CW) 原田 実 (CW)	加藤元一郎 (医師) : 評価
山内保孝 (CW)	千葉県	太田令子 (心理発達治療士) 三須 正 (生活支援員)	深津玲子 (医師) : 評価
中島八十一 (医師)	神奈川県	生方克之 (MSW) 岡本 朗 (更生施設指導員)	種村 純 (ST) : 評価
長岡正範 (医師)	岐阜県	楨林 優 (PT) 宇津山志穂 (臨床心理士)	長岡正範 (医師) : 訓練
寺島 彰 (教授)	三重県	白山靖彦 (MSW) 傍島康氏 (生活指導員)	蜂須賀研二 (医師) : 訓練
大橋正洋 (医師)	大阪府	鈴木明善 (CW) 辻本幹雄 (CW)	樋田精一 (医師) : 訓練
阿部順子 (臨床心理士)	岡山県	種村 純 (ST) 後藤祐之 (支援員)	阿部順子 (臨床心理士) : 訓練
樋田精一 (医師)	広島県	小家石龍次 (事務官) 百川 晃 (CW)	三輪隆子 (医師) : 訓練
	福岡県	野田雅美 (MSW) 安野敦子 (OT)	森田稲子 (OT) : 訓練
	名古屋市	阿部順子 (臨床心理士) 長谷川真也 (SW)	田谷勝夫 (研究員) : 訓練
	国リハ	菅原美杉 (MSW) 菅野博也 (心理判定専門職)	

※班長は〇〇〇〇〇〇〇、副班長は〇〇〇〇〇〇〇で記した者。

第2回地方支援拠点機関等連絡協議会オブザーバー出席者名簿

平成17年2月4日(金)

区分	氏名	所属
北海道	羽原 牧子	北海道立精神保健福祉センター
	金正 修子	北海道保健福祉部疾病対策課主査
札幌市		
宮城県	横野 富美子	宮城県保健福祉部障害福祉課主任主査
埼玉県	伊田 清	埼玉県総合リハビリテーションセンター能力開発支援部長
	横尾 優	埼玉県健康福祉部障害者福祉課社会参加推進担当主幹
	針ヶ谷 貴徳	埼玉県健康福祉部障害者福祉課社会参加推進担当主査
千葉県	山本 智	千葉県千葉リハビリテーションセンター総務課副課長
	渡邊 猛	千葉県健康福祉部障害福祉課主査
神奈川県		
岐阜県	京極 麻希子	岐阜県健康福祉環境部保健医療課
三重県		
大阪府	小金澤 光一	大阪府健康福祉部障害保健福祉室精神保健福祉課主事
岡山県		
広島県	永田 正典	広島県福祉保健部保健医療総室保健対策室主査
福岡県	坂本 明子	久留米大学精神保健福祉士
北九州市	岩崎 宏美	久留米大学精神支援コーディネーター(保健福祉士)
福岡市		
名古屋市		

厚生労働省資料

高次脳機能障害支援モデル事業

103,838千円 → 100,528千円(▲3,310千円)

・国立身体障害者リハビリテーションセンター実施分	23,838千円	→	26,528千円(+2,690千円)
・都道府県実施分	80,000千円	→	74,000千円(▲6,000千円)

1 事業の主旨

高次脳機能障害者への具体的な支援方策を検討すべく、地方自治体及び国立身体障害者リハビリテーションセンターにおいて、「高次脳機能障害支援モデル事業」に取り組み、平成13～15年度の3か年において、「診断基準」「訓練プログラム」「支援プログラム」を作成した。

平成17年度においては、16年度に引き続き地方自治体と国立身体障害者リハビリテーションセンターの連携を図りつつ、これまでのモデル事業の成果を踏まえ、地域の関係機関との連携の下に、各種の制度を活用したサービス提供を試行的に行い支援体制の確立を図る。

2 事業の内容

- (1) 各自治体においては、支援対策整備推進委員会を設置し、個々のケースについての支援ニーズの評価を行なうとともに、当該地域における事業の円滑な運営のため、地域の実態把握、関係機関の連携確保、事業の実施状況の分析、効果的な支援手法、普及啓発方法等について、総合的な検討を行う。
- (2) 各自治体においては、支援の拠点となる機関を指定して、そこに「支援コーディネーター」を配置し、平成15年度までの事業で作成された支援プログラム等を活用して、支援対象者の社会復帰支援のため、支援計画の策定や継続的な調整を行う。
- (3) 国立身体障害者リハビリテーションセンターは、平成15年度までの事業で作成された支援プログラム等を活用してサービスの試行的提供を自ら実施するとともに(1)、(2)の支援対策整備推進委員会及び拠点となる機関と連携して全国に普及可能な支援体制の確立に向けた検討に取り組む。
- ④(4) また、国立身体障害者リハビリテーションセンター学院において、都道府県・指定都市の行政担当者及び関係職種に対する研修を実施する。

3 実施主体等

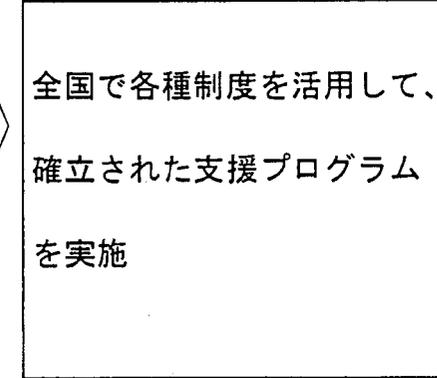
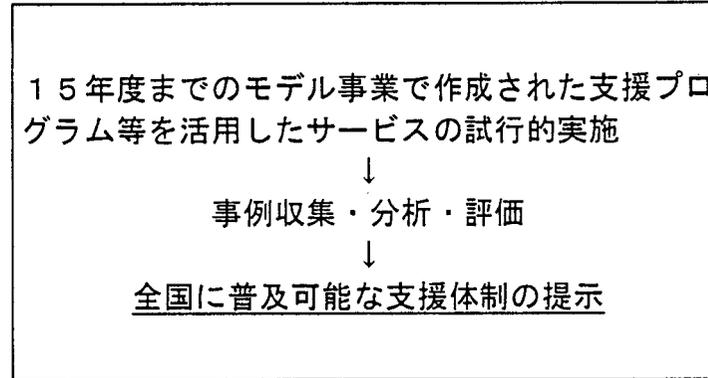
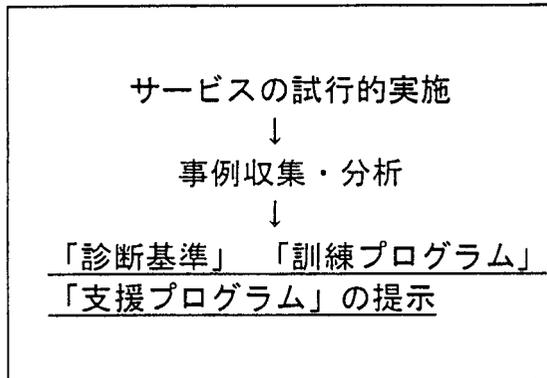
- (1) 2の(1)及び(2)の事業：都道府県又は指定都市
事業費 18,500千円(1/2補助)
- (2) 2の(3)及び(4)の事業：国立身体障害者リハビリテーションセンター
事業費 27,000千円

高次脳機能障害支援モデル事業について

平成13～15年度

平成16～17年度(予定)

平成18年度以降



① 都道府県・指定都市（8県・市）

- ① 連絡調整委員会
- ② 地域拠点リハビリテーション事業（病院）
- ③ 社会復帰施設事業

② 国立身体障害者リハビリテーションセンター

- ① リハビリテーションサービス事業
（(1)①②に相当）
- ② 情報収集・提供事業
- ③ 研修事業

① 都道府県・指定都市（8県・市）

- ① 支援体制整備事業
 - ・ 支援拠点機関の指定
 - ・ 支援コーディネーター（仮称）の設置
 - ・ 支援対策整備推進委員会の設置
- ② リハビリテーション等提供支援事業
- ③ 地域生活支援事業

② 国立身体障害者リハビリテーションセンター

（全国高次脳機能障害支援拠点センター）

- ① リハビリテーション・生活支援事業
- ② 情報収集・提供事業
- ③ 普及啓発事業

高次脳機能障害支援モデル事業【概念図】

